

(様式第1号)

新規調査研究計画書（全体計画）

調査研究課題	VNTR を用いた結核菌分子疫学分類確立のための調査研究
計画期間	平成25年度～ 27年度 3年間
背景 必要性	<ul style="list-style-type: none">・肺結核は結核菌の感染による慢性呼吸器疾患で、平成23年度茨城県の新登録患者は431名であり過去5年間を見ても400名を超えて推移し一向に減少していない。・罹患率は10万対14.6で関東圏を比較しても、東京、神奈川、千葉に続く4番目に多い。・結核は感染から発症までの期間（潜伏期間）が他の感染症と比較して長いことや、発症せず持続して感染して保菌している事があるため感染源を特定することが非常に難しい。・現在実施しているRFLP法より遺伝子情報の解析能が高いVNTR法の導入を図り、感染の源を可能な限り把握し、結核対策を充実する必要がある。
目的	<ul style="list-style-type: none">・VNTR（24領域）法を用いた結核菌分子疫学分類確立を図る。・隣接する都県衛生研究所と疫学的情報の交換を行う。
計画内容	<ul style="list-style-type: none">・当所に於けるVNTR（24領域）法を用いた遺伝子分析技術の導入と確立を図る。・RFLP法と比較検討する。・VNTR（24領域）法の実用化と拡大。
研究目標 （達成しようとする成果及びその活用方法）	<ul style="list-style-type: none">・保健所から提供された結核菌を用いて実際にVNTR（24領域）法での分子疫学分析を実施する。・得られた分子疫学情報を用い解析し結果を比較する。・VNTR（24領域）法の実用化と拡大を図る。
実施上の課題及び対応	
備考	平成25年度は、既存予算（衛生研究所費）で対応する予定。